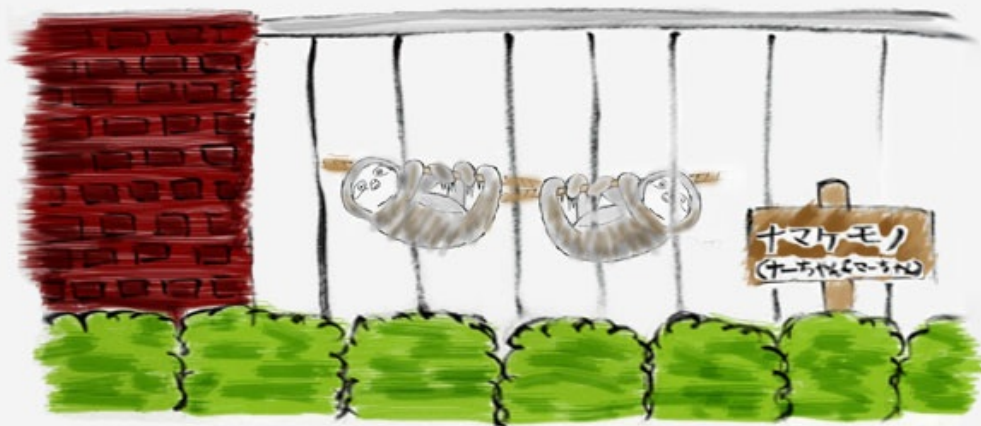


ナマケモノはナマケモノ。



とある どうぶつえんに、2ひきの ナマケモノが いました。  
なまえは めのしたに ほくろが あるのが、「ナーちゃん」。  
そうでないのが「マーちゃん」です。  
2ひきは あまり にんぎが ありませんでした。



ナーちゃんは ぼやきます。  
「おれらって じみだよな。」  
マーちゃんも ぼやきます。  
「これといった とくぎも ないしな。」  
2ひきは ほかにも じみな ところが ないか かんがえました。

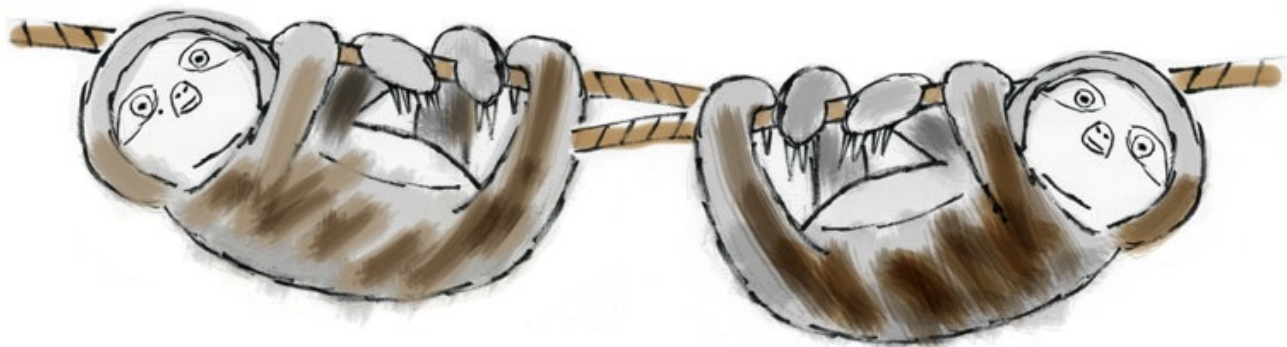
すると ナーちゃんが

「おれたちって からだが じみだよな。」

「たしかに、どうも ぱっとしない からだ だよな。」

マーちゃんも そうおもいました。

2ひきは どうすれば じみな からだを かえられるか  
かんがえました。



すると ナーちゃんは おもいつきました。

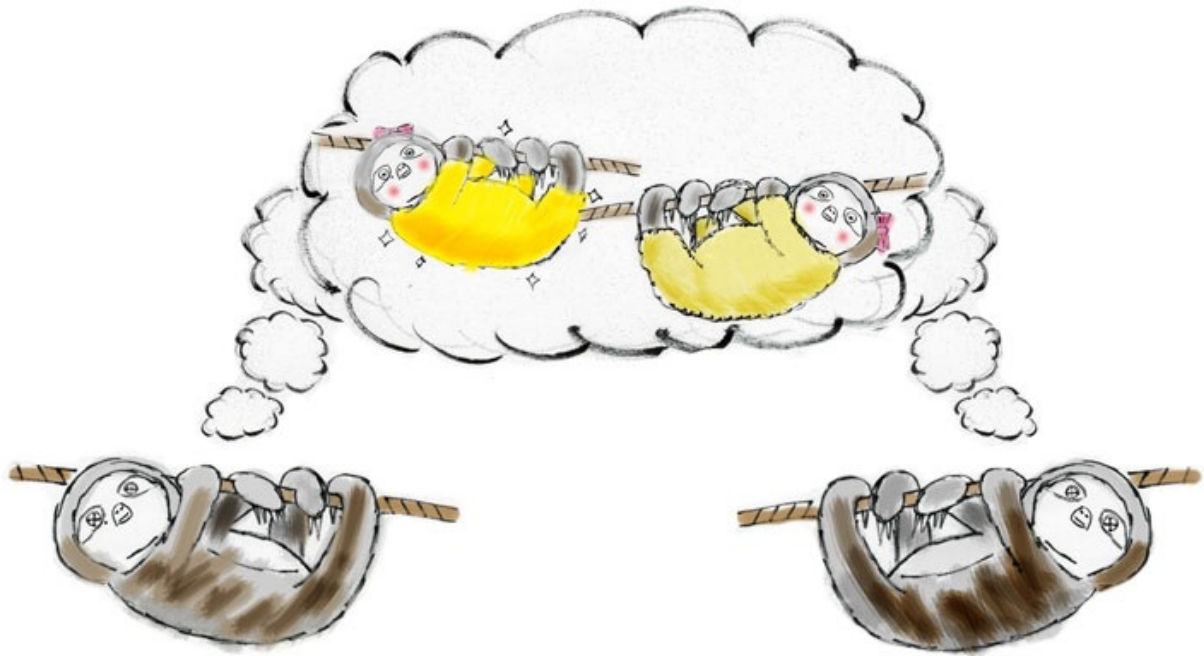
「ふくをきて、おしゃれでもするか、マーちゃん。」

「いいねえ、いまや いぬやねこも ふくをきるしね。」

マーちゃんもノリノリです。



「モコモコしたやつとか、きらきらした はでな ふくとかは？」  
とナーちゃんが ていあんすると、  
「あと あたまに リボンなんか つけちゃったりして。」  
とマーちゃんもノリノリで  
ていあん してきます。  
2ひきは、ふくをきた じぶんたちを そうぞうしてみました。



「にあわねえ〜。」

2ひきは くちを そろえて いいました。

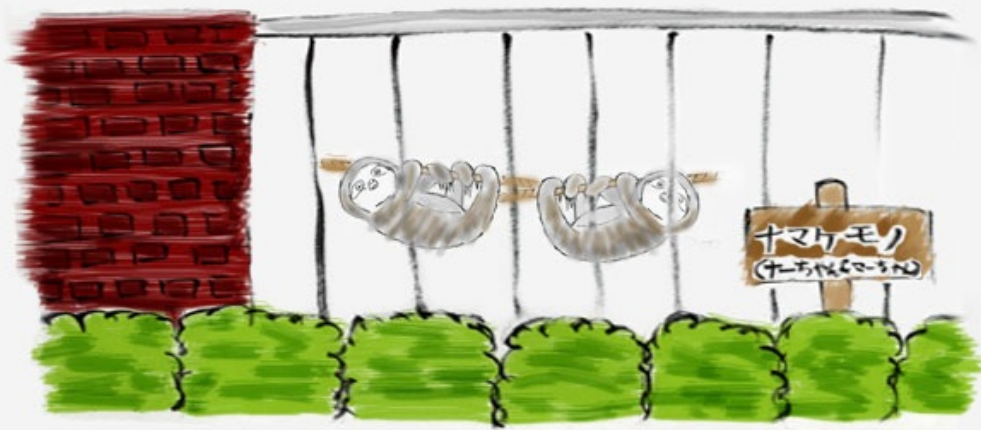
「だいたい おれたちオスだし、メスみたいな かっこうしたって にあわないだろ。」

とナーちゃんが言う。

「だな。そうかんがえると、いぬやねこは かわいそうだな。」

とマーちゃんも。

2ひきは ふくをきることを あきらめました。



2ひきは ほかに じみにならない ほうほうは ないか かんがえてみました。

するとナーちゃんが ていあんします。

「おしゃれは やめるとして、からだのいろを かえるって いうのは？」

「いいねえ、どんないろが いいだろう？」

とマーちゃんも さんせいし、

2ひきは どんないろが いいか

かんがえることに しました。

「おもいきって くら とか いいんじゃない？」

ナーちゃんが ていあんします。

2ひきは じぶんたちの からだが くらくなったのを そうぞうしました。

「まっくら くらすけ みたいになって、よるとか めだたなくなりそうだな。」

とマーちゃんがひとこと。



「だな。じゃあしろとかは？」

ナーちゃんが提案します。

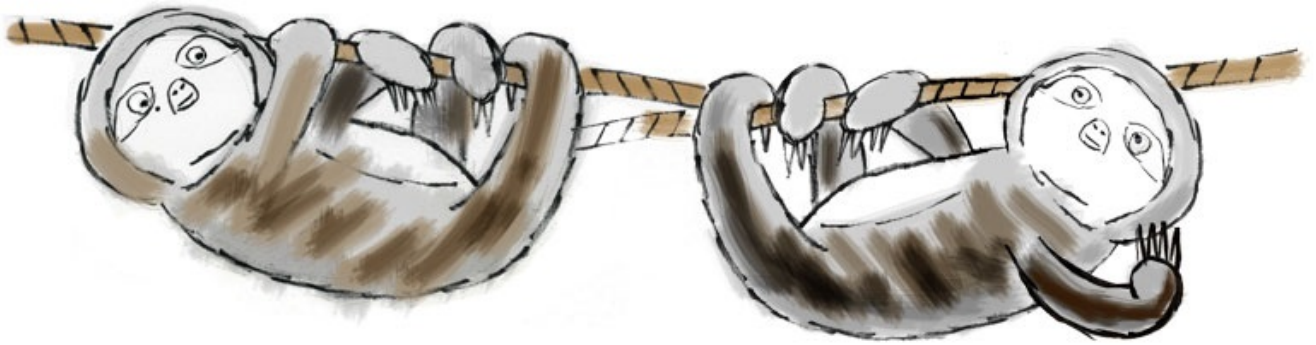
2ひきは じぶんたちの からだが しろくなったのを そうぞうしました。

「ゆきおとこ みたい。」

と マーちゃんが いうと、ナーちゃんも、

「けっきょく いろを かえても、よくはならないな。」

といい 2ひきは けっきょく、いろを かえることを あきらめました。



2ひきは ほかに じみにならない ほうほうはないか かんがえてみました。

するとナーちゃんが ていあんします。

「じゃあ おもいきって かおを かえてみるか。」

「かお かあ、どうせだったら カッコいい かおにしたいな。」

とマーちゃんも さんせいし、

2ひきは どんなかおが いいか かんがえてみました。





「トラとか、ライオンみたいな かおは どうだろう。」

ナーちゃんが ていあんします。

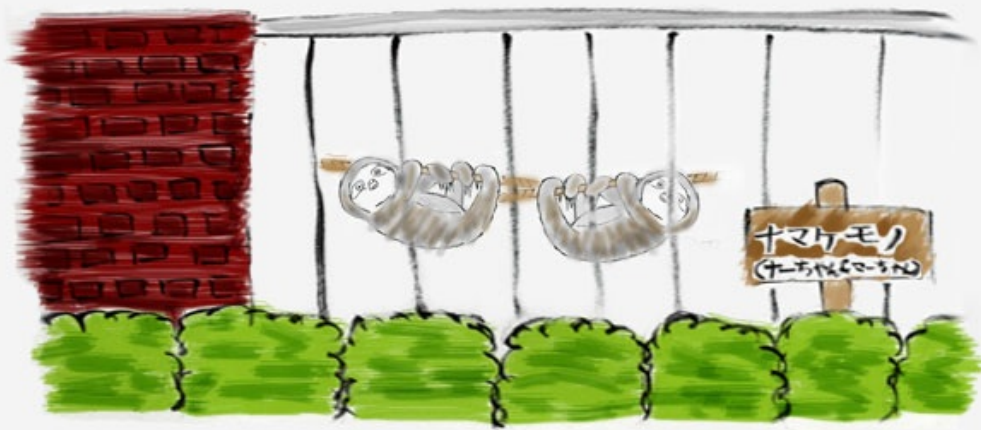
2ひきは じぶんたちの かおが トラや ライオンみたいに なったのを そうぞうしました。

「なんかおかしいな。」

とナーちゃん。マーちゃんも

「ばけもの みたい。」

といい 2ひきは けっきょく、かおを かえることを あきらめました。



2ひきは ほかに じみにならない ほうほうはないか かんがえて みました、  
なかなか おもいつきません。

「じゃあ おれら けっきょく どうすれば いいんだろう。」

ナーちゃんは なやみます。

「う～ん、まいったなあ。」

マーちゃんも なやみます。



そんなときです。

おりのまえで ちいさな おんなのこが、  
「あ! あの ナマケモノ かわいい!!」  
と喋ってきたのです。

「えっ？」

2ひきは おもわず おどろいてしまいました。

「かわいい」と いわれたのは、うまれて はじめてのこと だったからです。

「かわった やつも いるもんだな。」

といいながらも ナーちゃんは すこし てれています。

「でも、うれしいよな。」

マーちゃんは もろに うれしがっています。

2ひきは ほほをあからめ、そのまま ぼおーっと していました。  
しばらくして マーちゃんが くちをひらきました。  
「おれら、そのまま いいんじゃない？」  
「だな、かわいって いてくれる ひとがいるからな。」  
ナーちゃんも なっとくしたように いいました。



2ひきは けっきょく じみなままで いきていくことに きめました。  
ただ じぶんたちが じみだと おもっていても、  
そのじみな すがたが かわいいと おもうひとも います。  
たとえ そうなのが たったひとりだけ だったとしても、  
そのひとのために かわらないでいるのも いいことではないか、  
2ひきは そうおもい、きょうもこれからも、なわに ぶらさがり つづけるのです。